

● 顕現後第二主日

泉のほとり

今月の詩編「第五十三編」

どうかイスラエルの救いが

シオンから起こるように。

神が御自分の民、捕らわれ人を連れ帰るとき

ヤコブは喜び踊り

イスラエルは喜び祝うであろう



新しい自分を生きる

親しい人が亡くなったときに、復活を信じるわたしたちには、天の国での再会の希望があります。でもそのときには、相手も自分も、新しい姿になっています。天使に似たものになっているのです。だからパウロは「わたしたちは今後だれをも肉によつて知ろうとはしません」と言います。今のその人の姿が最終的な姿でないからです。

高い山の上で主イエスの姿が変貌したという出来事がありました。その時モーセとエリヤが現れました。この世の時間の流れを超えた出来事です。この世の歴史とは別に、世界を罪から救い、ご自分のもとに取り戻すための神さまの戦いの歴史があります。それがそのとき、姿を現したのです。その歴史の中で、わたしたちも新しい姿を与えられるのです。

もちろんこのことは、主イエスとの結びつきの中で起こることです。洗礼を受けて、わたしたちはみ言葉によつて生きる者になります。主イエスを心から愛する者になるのです。そして、自分のために生きることをやめて、主イエスのために生きる者に変えられます。そのために主イエスは十字架で死なれたのです。主イエスのためと言いますが、それが自分のためなのです。

若い頃に「自分の生き方がはつきり見えない時には、誰のために生きるかを考えなさい」と教えられたことがあります。この人たちのために生きよう、と思えたときに、生きる目的と力が与えられるからです。

以前、夏休みに高校生を連れて浜松の福祉施設で奉仕をしていたときに、施設に入所している人たちに仕えている職員を支える仕事をしたいと思うようになりました。彼らはクリスチャンでした。そこから牧師になる道が見えてきたのです。

牧師の務めのすばらしさは、神さまの不思議さを語れることです。毎回驚き、感動しながら神さまと主イエスの話をします。わたしの説教の目標は感動の共有です。パウロは、神さまが主イエスによつて世を yourself と和解させ、人々の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちに委ねられた、と言います。神さまに造られたわたしたちが、神さまを無視して生きているために敵になったのです。その結果は、わたしたちの滅びです。ですから本当はわたしたちから和解を申し出ないとなりません。それを神さまが申し出られたのです。

和解は、申し出た方が立場が弱いのです。だから身を低くして申し出ます。神さまがそのようにして和解の手を差し出されたのです。常識ではあり得ないことです。このあり得ないことが神さまの真実を示します。この真実に支えられ、動かされて、わたしたちも神さまを愛し、主イエスを愛する者になります。自分のためではなく、主のために生きる者になるのです。

(二コリント五・一六〜二一 吉村 和雄 名誉牧師)

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、定例役員会をカナルームで行います。役員の方はご出席ください。

○ 本日、吉村和雄名譽牧師は日本基督教団平塚教会で奉仕のため不在になります。

《礼拝伝道委員会より》

本日、ペンライトの片付けをしたいと思います。ご都合の付く方がおられましたら、ロビーにて作業のお手伝いをお願いいたします。

《ぶどうの会より》

礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《運営委員会より》

次週二六日(日)の礼拝後、教会研修会を行います。先日の懇談会の発表を踏まえての研修が行われます。教会員の皆様はご参加ください。場所は地下ホールです。

《教会事務所より》

先週一二日(日)～一三日(月)にかけて行われたキュービクル工事の様子をロビーに掲示しました。どうぞご覧ください。

《交読詩篇》

※会衆は太字を唱和します。

【詩篇五十三篇】

指揮者によって。マハラトに合わせて。
マスクール。ダビデの詩。

神を知らぬ者は心に言う

「神などない」と。

人々は腐敗している。

忌むべき行いをする。

善を行う者はいない。

神は天から人の子らを見渡し、探される。

目覚めた人、神を求める人はいないか、と。

だれもかれも背き去った。

皆ともに、汚れている。

善を行う者はいない。ひとりもない。

悪を行う者は知っているはずではないか。

パンを食らうかのように、わたしの民を食らい

神を呼び求めることをしない者よ。

それゆえにこそ、大いに恐れるがよ

かつて、恐れたこともなかった者よ。

あなたに対して陣を敷いた者の骨を

神はまき散らされた。

神は彼らを退けられ、あなたは彼らを辱めた。

どうか、イスラエルの救いが

シオンから起こるように。

神が御自分の民、捕われ人を連れ帰られるとき

ヤコブは喜び躍り

イスラエルは喜び祝うであろう。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「すべての人に仕えるものに」

聖書 マルコ9章33〜37節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「ザアカイよ、降りて来なさい」

聖書 ルカ19章1〜10節

説教者 吉村和雄 牧師名誉

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 77番 296番

説教 「苦難の中を、真つ直ぐに生きる」

聖書 使徒7章9〜16節

説教者 宮間彰広兄





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 2番 334番
説教 「真理に属する人は」
聖書 ヨハネ18章28～40節(新約 P.205)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「アレグロ・コン・ブリオ」F.メンデルスゾーン

○讃美歌2番

- いざやともに こえうちあげて
くしきみわざ ほめうたわまし
つくりましし あめつちみな
かみによりて よろこびあり
- 母のむねに ありしときより
わがふむみち さぎわいたもう
いまものちも あだをふせぎ
世のわざわいのぞきたまわん
- まよいを去り やすきをあたえ
つねにめぐみ なぐさめたもう
父なるかみ み子 みたまに
代々みいつと みさかえあれ

アーメン

○讃美歌334番

- いつわりの世に わかれを告げ
罪とけがれを うちしりぞけ
ただひたすらに われはしたう
とわに変わぬ あまつ国を
- かみの御子なる わが主イエスよ
みむねのままに みちびきませ
苦しみわれに せまり来とも
みちからをもて つよめたまえ
- こころのうちに 照り映ゆるは
イエスの十字架の みひかりのみ
み名をたたえて われ安けく
死のおおなみを 乗りこえゆかん
- み腕にすがる しもべの名を
いのちの書に しるしたまえ
主は真実にぞ ましませると
あまつ国にて 我はうたわん

アーメン

聖餐曲「主キリスト、神のひとり子」

J.P.スウェーリンク

後奏曲「たえにうるわしや」J.パッヘルベル

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。